

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

記

演題：がん免疫学と次世代免疫治療

講師：京都大学大学院医学研究科
がん免疫総合研究センター (CCII)
がん免疫多細胞システム制御部門
西川 博嘉 教授

日時：2026年7月30日(木) 17:00-19:00

場所：M&Dタワー9階 大学院講義室4

内容：

がん免疫療法の治療効果は、患者自身の抗腫瘍免疫応答の活性化に依存しているため、治療効果に個人差がある。その原因として、発がん過程での免疫系の関わりが患者毎に異なり、その結果としてもたらされるがん微小環境での免疫応答の違いが重要な役割を果たしている。よって、がん微小環境での免疫応答を統合的に検討する(免疫ゲノム解析) ことにより、治療法を検討することが重要である。本講演では、免疫ゲノム解析より明らかになったデータを基盤として我々が提唱している免疫ゲノムがん進展説に基づいた免疫ゲノムプレシジョン医療の重要性について述べる。

担当連絡先：分子腫瘍医学分野 田中 真二
(tanaka.monc@tmd.ac.jp)